

ストレージデータ消去証明ソリューション

Storage LCM

エンタープライズストレージ向け
ストレージデータ消去証明ソリューション

ストレージの
情報漏えいを防止



HDDやSSDに存在するデータの情報漏えいを防止します。

再使用・
リース返却に便利



再利用可能なデータ消去のため、再使用やリース返却などにも対応が可能です。

第三者機関による
データ消去証明



第三者機関のデータ消去証明書を発行して証跡として利用できます。

お客様のデータセンター



使用済みHDD
ディスク返却不要サービス
お客様で消去して廃棄

いままでのデータ消去環境

データセンターから持ち出せない

データの責任はお客様

問題

ストレージのデバイスを確認することができないためデータを消去されたか分からない。



作業指示

完了報告



サニタイズ(データ消去)



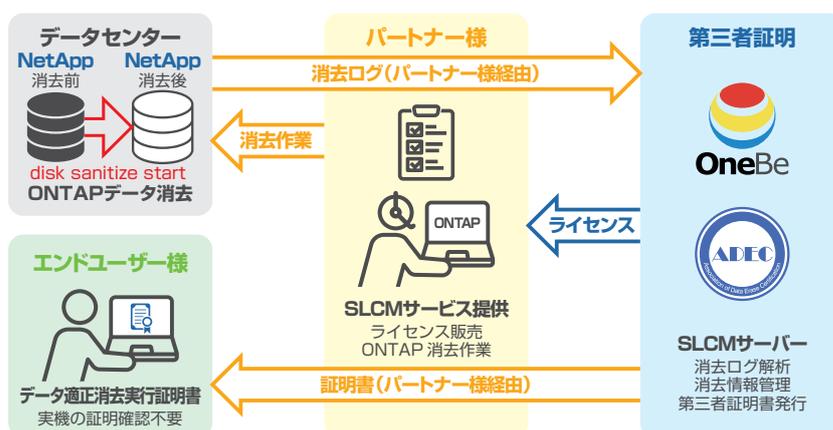
作業時間によるコストから消去を実施せずにデバイスの放置や転売、再利用しているケースがある。

消去事業者の作業報告書(自己証明書)では、本当にデータ消去が完了したか確認できない。

データ消去作業をサービスパートナーで対応可能

弊社指定のサービスパートナーにてデータ消去作業とデータ消去証明書の発行も可能です。*
ストレージ管理者自身がデータセンター訪問やデータ消去コマンドを実施することはないため、管理者の負担を削減できます。
データ消去時の消去ログ結果を用いて、OneBe Storage LCM サーバーから第三者機関 ADEC が発行するデータ適正消去実行証明書を発行することができます。

* データ消去作業のサービスについての詳細は弊社営業担当までお問い合わせください。



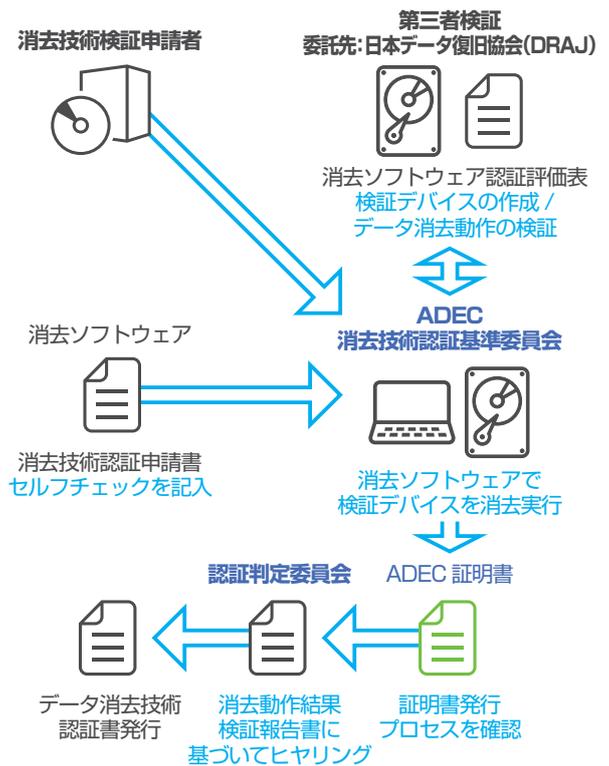
NetApp 第三者機関の消去技術認証を取得

NetApp ONTAP サニタイズコマンド

- ・ ADEC 消去技術の認証基準をクリア
- ・ 適正なデータ消去(データ復元困難な状態)を証明
- ・ データ適正消去実行証明書の発行が可能

■ 消去技術認証

消去プログラム・ソフトウェアを対象とし、適正なデータ消去技術の評価基準に基づき、データの適正消去が実行されたことを検証する技術認証



データ消去コマンドの結果を分析し消去を証明

総務省は地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドラインが提唱する復元困難な消去を求めています。OneBe Storage LCM ではストレージに搭載される HDD や SSD のデータ消去結果をもとに、本当に復元困難なデータ消去が実施されたかをログから分析して証明することができます。

データが残る消去とは？	復元困難な消去とは？
<ul style="list-style-type: none"> ✗ フォルダ、ファイルを削除 ✗ ゴミ箱を「空」 ✗ フォーマット(初期化) ✗ OSの再インストール 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 信頼のある消去ソフトウェアを使用する ✓ 本の目次に加え、本の内容を消去する (実際のデータを消去) ✓ 復元ツールを使用しても復元が困難な状態にする

ADEC「データ適正消去実行証明協議会」による第三者機関からの認証

ADEC「データ適正消去実行証明協議会」による第三者機関から、「適正な消去技術に基づいた消去ソフトウェアの提供が可能」と認証されています。

本製品は、ADEC データ適正消去実行証明書を発行することができます。

ADEC公式ページ: <https://adec-cert.jp/>

■ 開発・販売元



ワンビ株式会社

〒160-0022
 東京都新宿区新宿4-3-17
 FORECAST 新宿 SOUTH 3F
 TEL: 03-6856-4814
 URL: <http://www.onebe.co.jp/>
<http://www.onebe.com/>

■ お問い合わせ先

